

レセプト電算

(株)システムクレオ

【目次】

レセプト電算ファイルの作成.....	1
レセプト電算のデータをUSBへ書き込む場合 (Windows 11 版)	1
レセプト電算のデータをCDへ書き込む場合 (Windows 11 版)	5
(CD へ書き込まれたかの確認方法)	9

レセプト電算ファイルの作成

レセプト電算のデータをUSBへ書き込む場合 (Windows 11 版)

事前に **42 明細書** の集計や **43 請求管理** の作業を行った上で手順に進んで下さい。

1. USB メモリをセットします。
2. **44 総括表・公費請求書** にて請求年月、請求年月日を確認します。
ファイル出力先が **クライアント保存** となっていることを確認し、レセ電チェックを「1:チェックする」にします。

※レセ電チェックを行うと、請求前に基本的なチェックをかけることができます。

The screenshot shows a software window with several input fields and checkboxes. The '診療年月' (Treatment Year) is set to 'R 6.2' and '請求年月日' (Request Date) is 'R 6.3.10'. The '対象保険' (Insurance Type) is '国保' (National Health Insurance). The 'ファイル出力先' (File Output Destination) is 'クライアント保存' (Client Save). The 'レセ電チェック' (Receipt Check) is set to '1:チェックする' (Check). The '印刷' (Print) button is highlighted in red.

3. **社保レセ電(F6)**・**国保レセ電(F7)** を押すと下記のメッセージが表示されますので **F10:プレビュー** を押します。

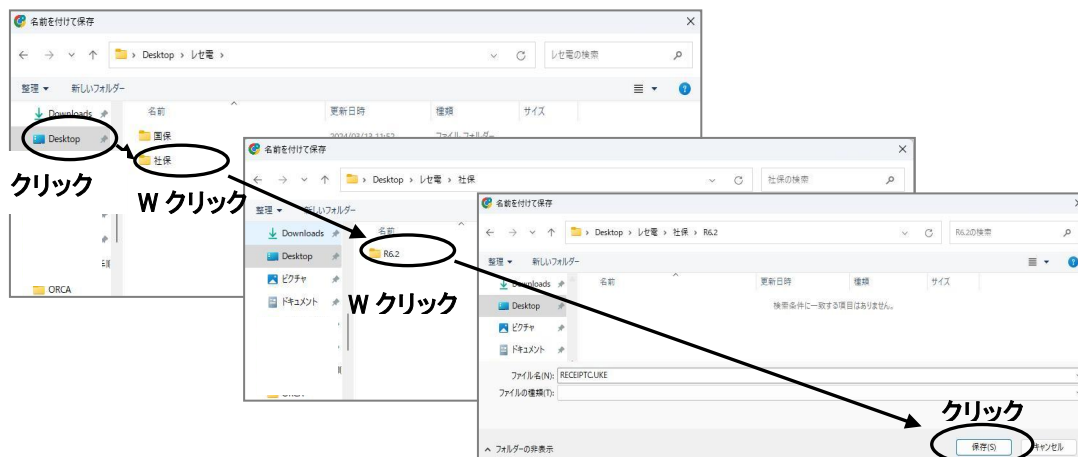
The screenshot shows a confirmation dialog box titled '(T102)確認画面'. It contains the text '社保分のレセプト電算データを作成します (症状詳細、光ディスク等送付書、レセ電チェックリストの印刷を指定)'. The 'F10:プレビュー' button is highlighted in red.

4. 「名前をつけて保存」の画面が表示されましたら、格納場所を選択し **保存** を押します。

※「名前をつけて保存」画面が表示されない場合は、画面右上に表示されます「保存」を押して下さい。

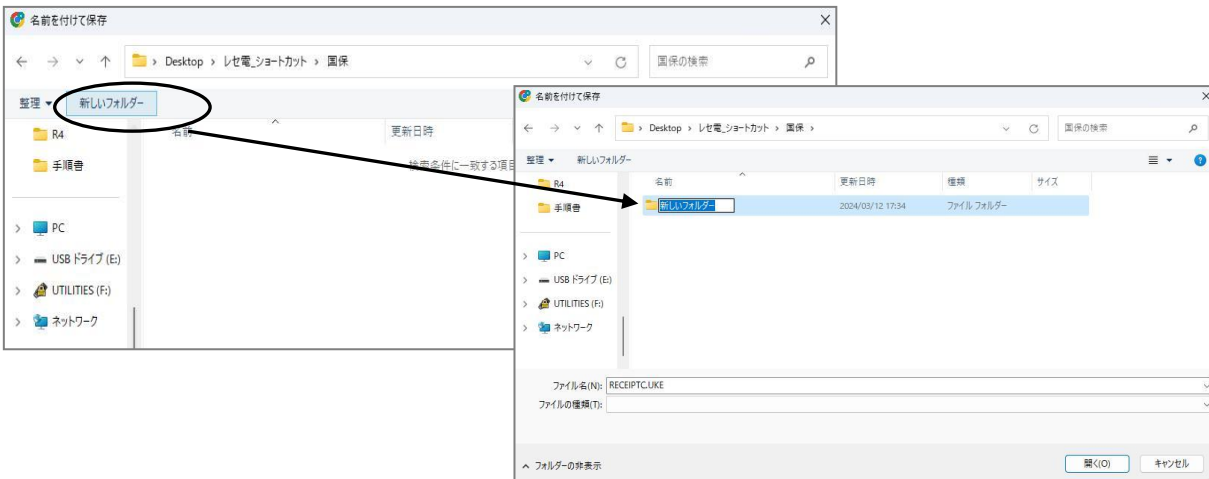
※2回目以降の場合は、上書きのメッセージが表示されますので **はい** を選んで下さい。

(例: デスクトップ→レセ電→社保→R6.2)

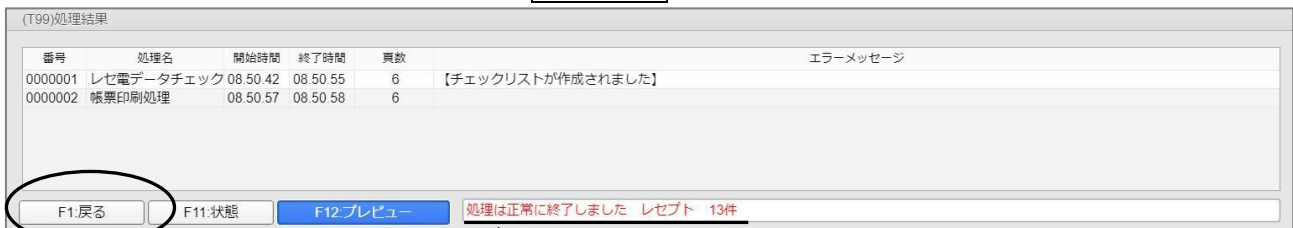


Point

「新しいフォルダー」を選択すると、新たなフォルダを作成することができます。



5. 保存後、下記画面のように表示されましたら **F1:戻る** を選択します。

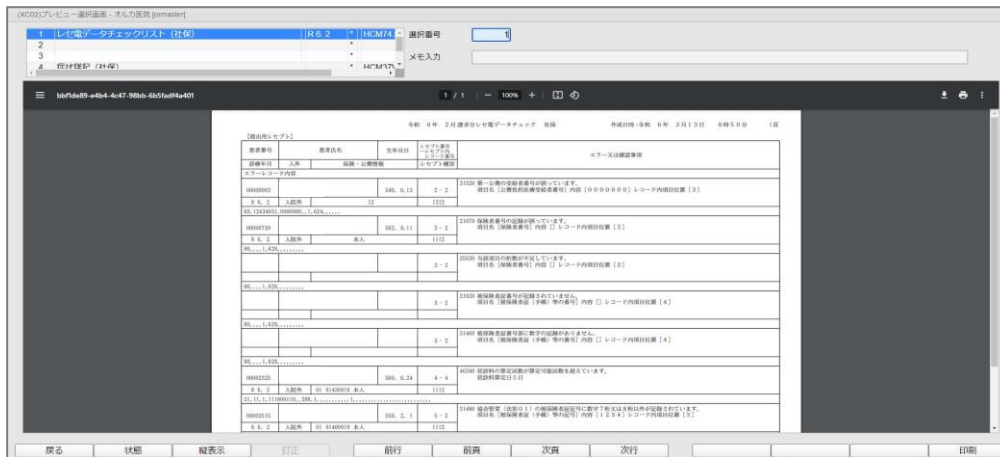


※赤字で「処理は正常に終了しました」と表示された場合は、エラーがあります。

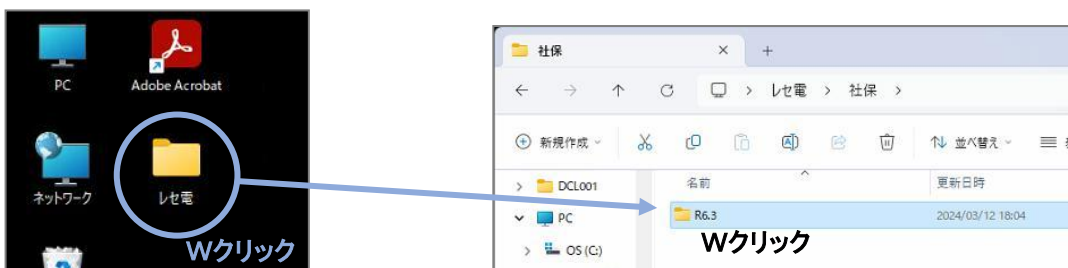
F12:プレビュー をクリックし、エラー内容を確認して下さい。

修正が不要な場合は次の手順へ進み、修正が必要な場合は該当患者様の内容を修正し、

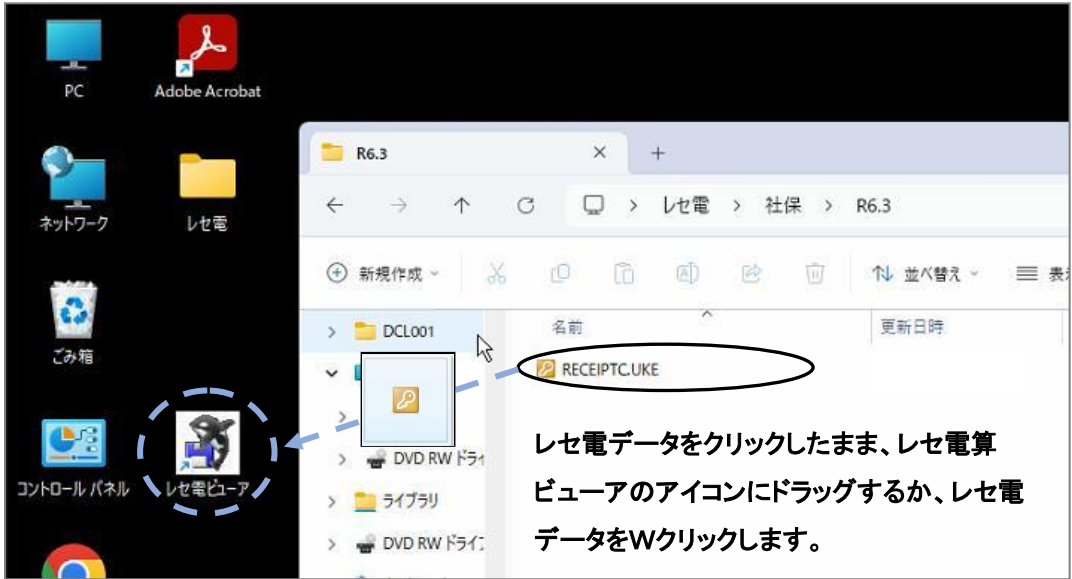
修正後 42 明細書 の手順から再度行って下さい。



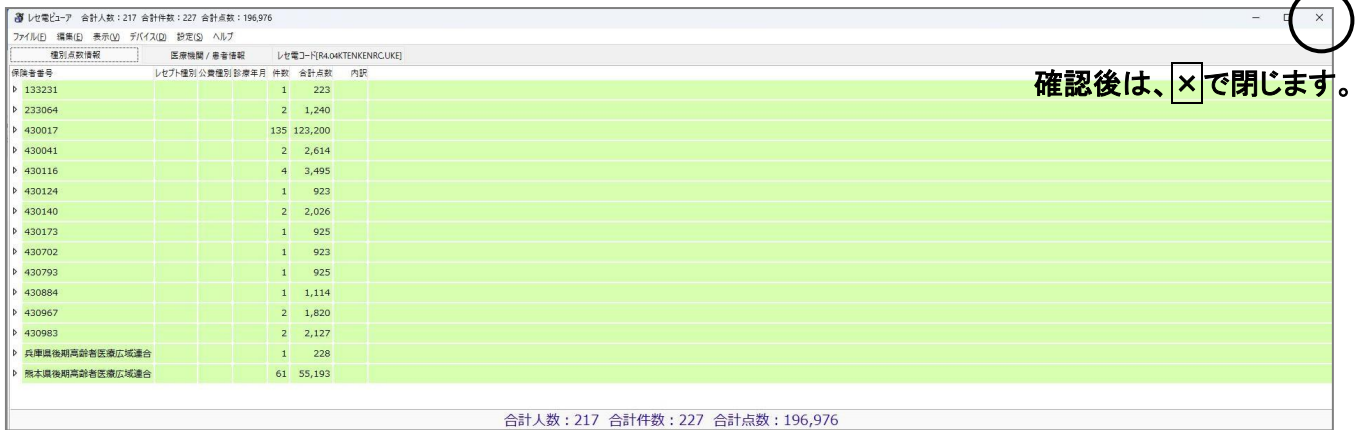
6. 次に、デスクトップに保存した該当月のフォルダを開きます。



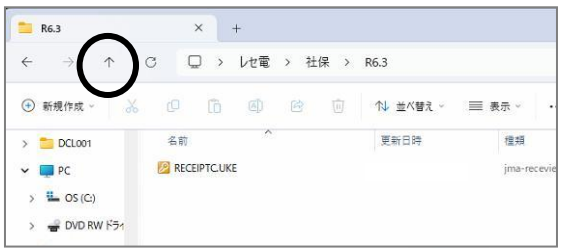
7. レセ電データ(RECEIPTC.UKE)を開き、レセ電ビューアで点数や件数を確認します。



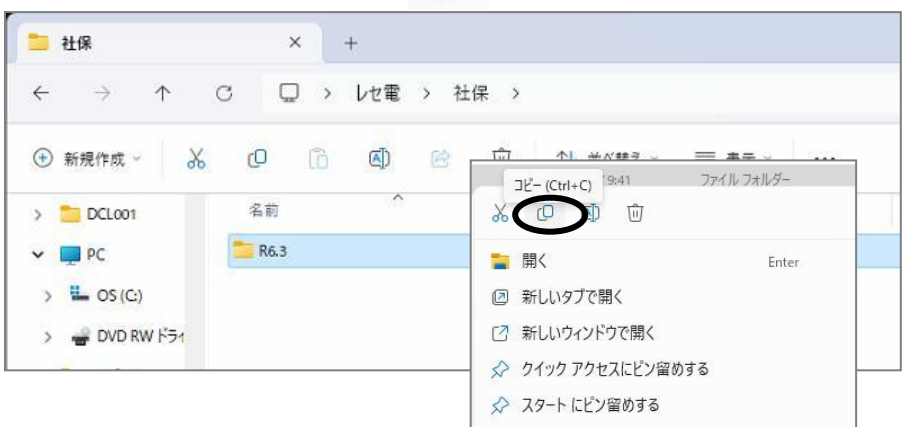
※自動的にレセ電ビューアが開きますので、点数や件数を確認することができます。



8. 画面左上にあります上矢印をクリックします。



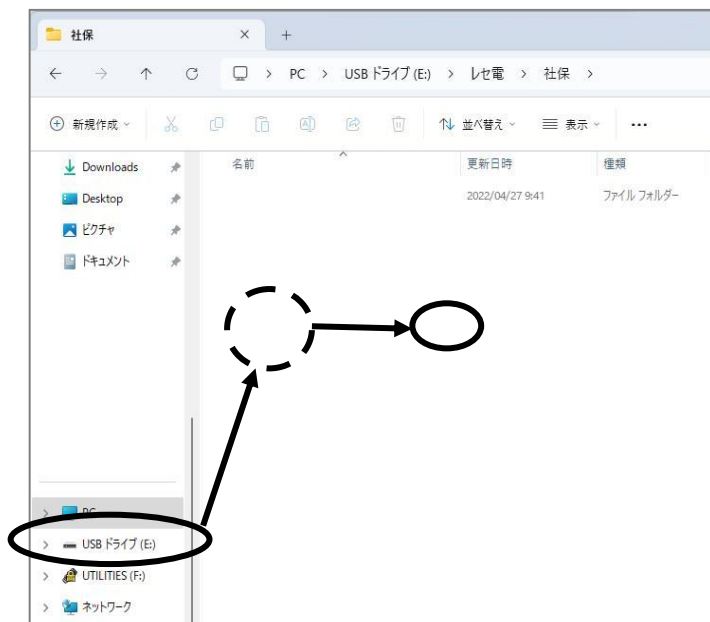
9. 該当フォルダを右クリックし「コピー」をクリックします。



10. 左側のメニューより「USB ドライブ」を選択し、格納場所開きます。

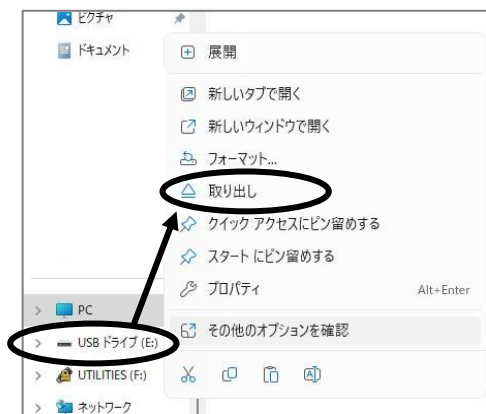
その後白い部分で右クリックし、「貼り付け」を押します。

(例: USB ドライブ(E:)→社保)※USB ドライブ名は USB メモリによって異なります。



11. 最後に、USB メモリを取り出します。

「USB ドライブ」を右クリックし「取り出し」を選択します。



レセプト電算のデータをCDへ書き込む場合 (Windows 11 版)

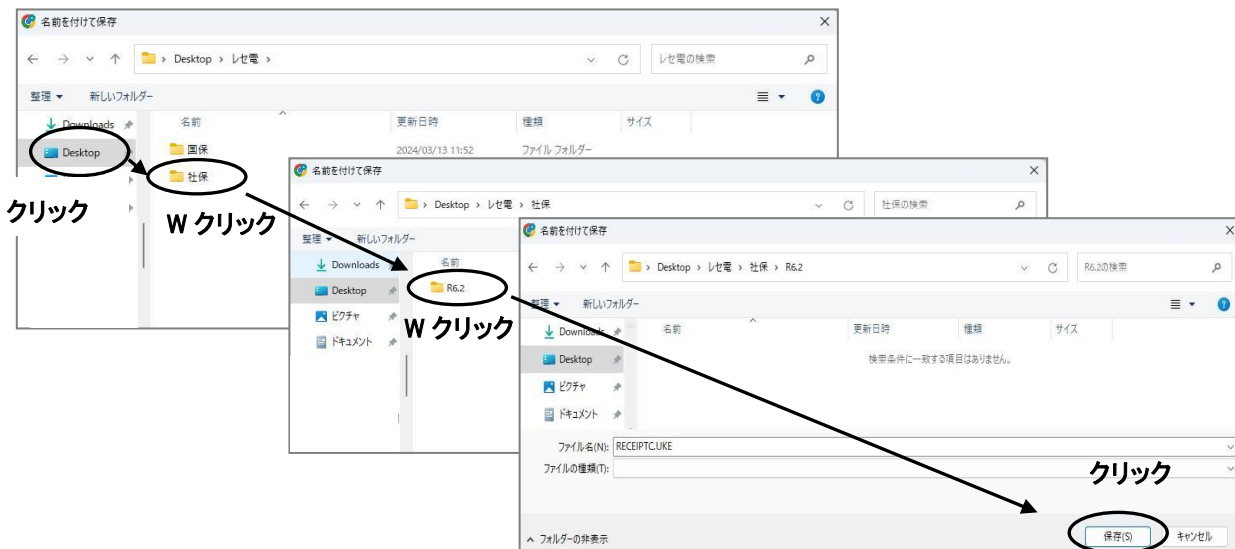
事前に **42 明細書** の集計や **43 請求管理** の作業は行った上で手順に進んで下さい。

1. **44 総括表・公費請求書** にて請求年月、請求年月日を確認します。
次にファイル出力先が **クライアント保存** となっていることを確認して下さい。
又、レセ電チェックを「1:チェックする」にします。

※レセ電チェックを行うと、請求前に基本的なチェックをかけることができます。

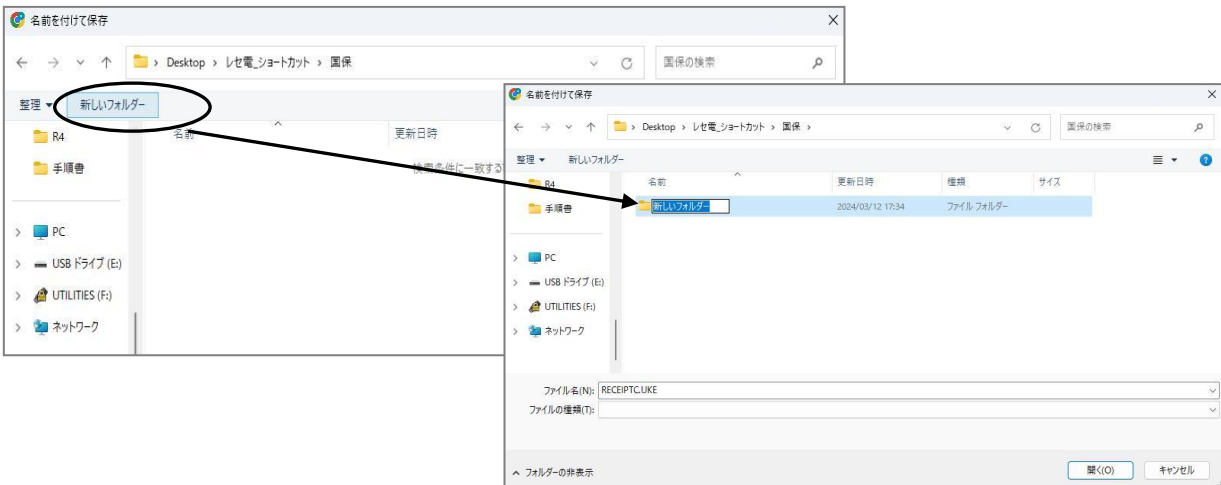
2. **社保レセ電(F6)**・**国保レセ電(F7)** を押すと下記のメッセージが表示されますので **F10:プレビュー** を押します。

3. 「名前をつけて保存」の画面が表示されましたら、格納場所を選択し **保存** を押します。
※「名前を付けて保存」画面が表示されない場合は、画面右上に表示されます「保存」を押して下さい。
※2回目以降の場合は、上書きのメッセージが表示されますので **はい** を選んで下さい。
(例: デスクトップ→レセ電→社保→R6.2)

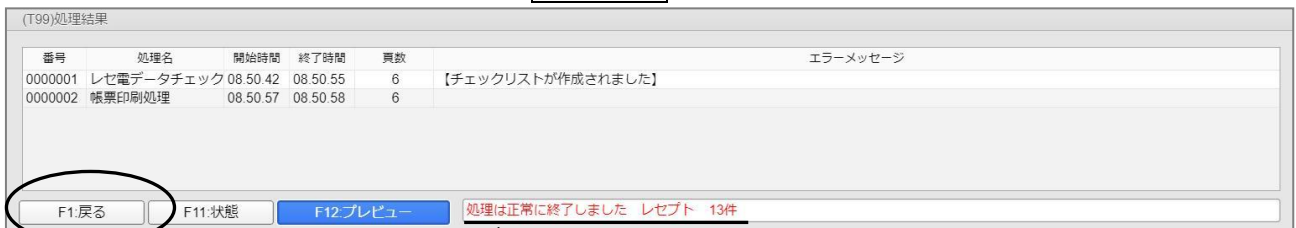


Point

「新しいフォルダー」を選択すると、新たなフォルダを作成することができます。



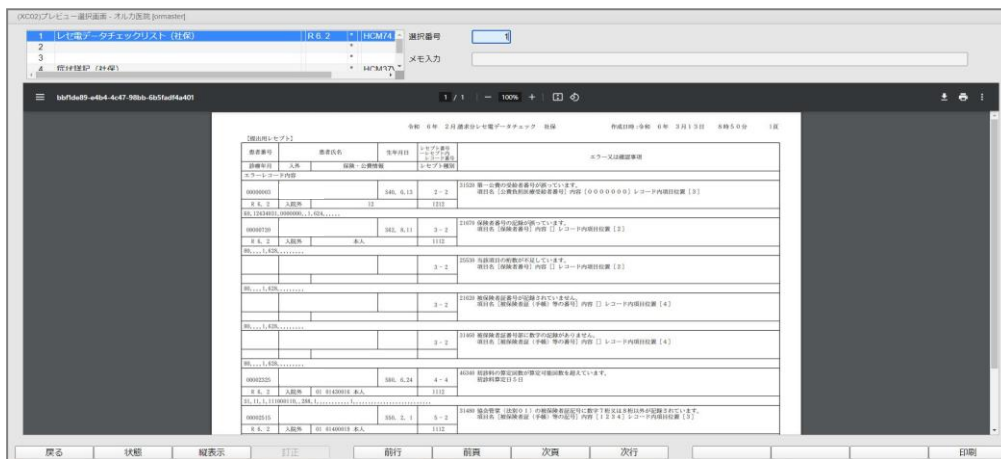
4. 保存後、下記画面のように表示されましたら **F1:戻る** を選択します。



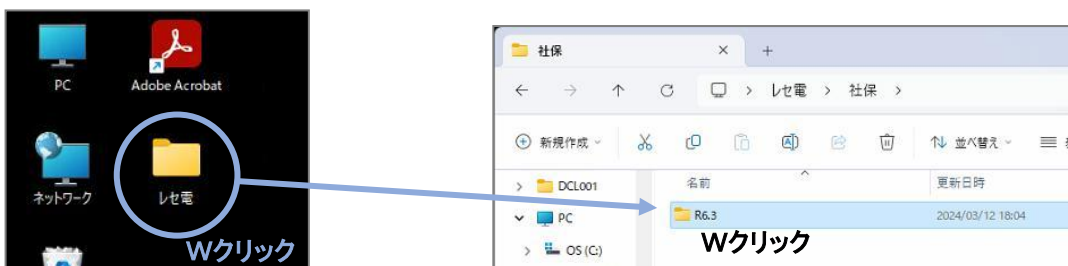
※赤字で「処理は正常に終了しました」と表示された場合は、エラーがあります。

F12:プレビュー をクリックし、エラー内容を確認して下さい。

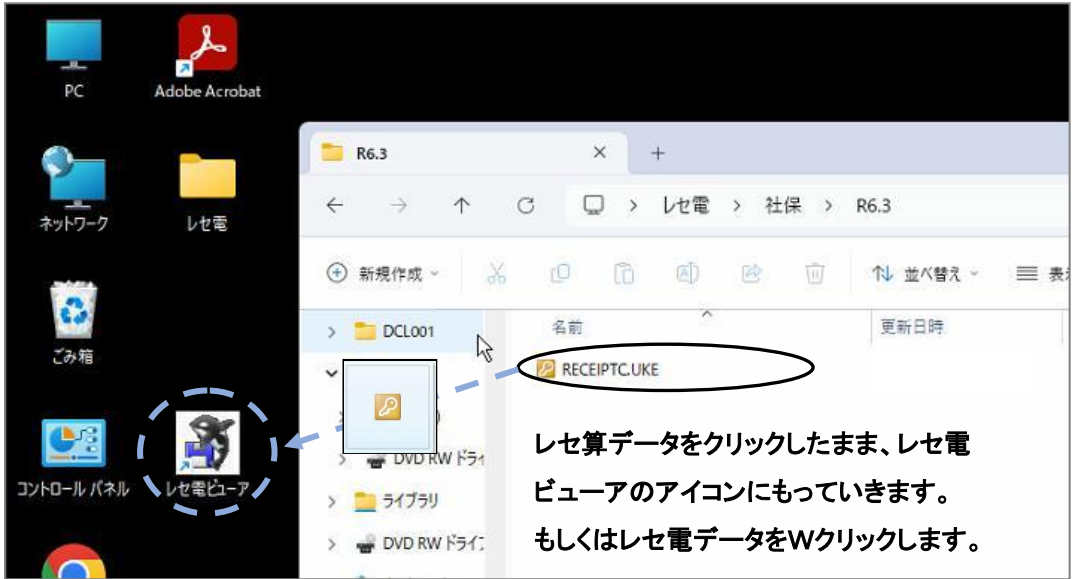
修正が不要な場合は次の手順へ進み、修正が必要な場合は該当患者様の内容を修正し、**修正後 42 明細書** の手順から再度行って下さい。



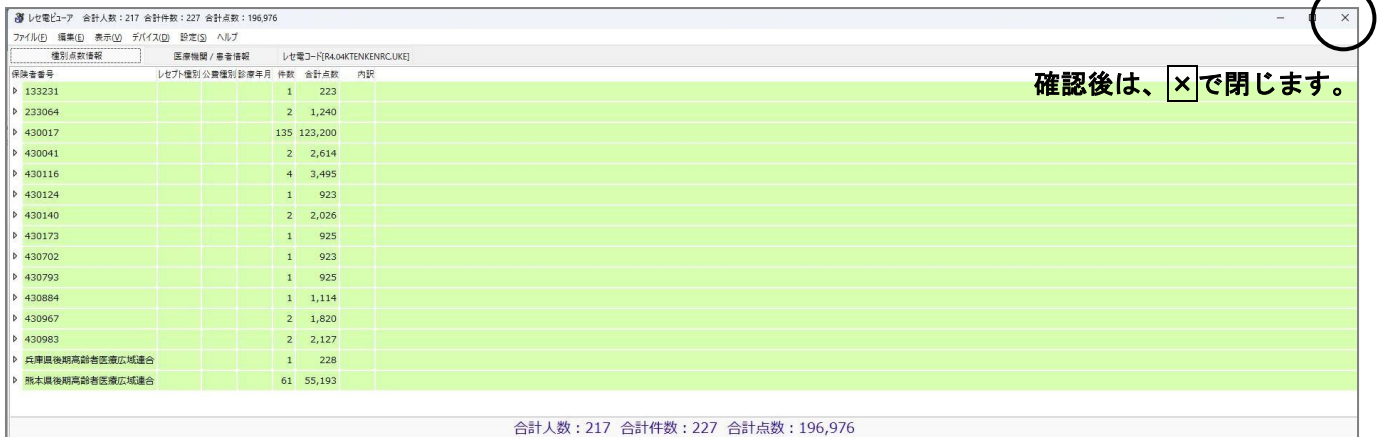
5. 次に、デスクトップに保存した該当月のフォルダを開きます。



6. レセ電データ(RECEIPTC.UKE)を開き、レセ電ビューアで点数や件数を確認します。



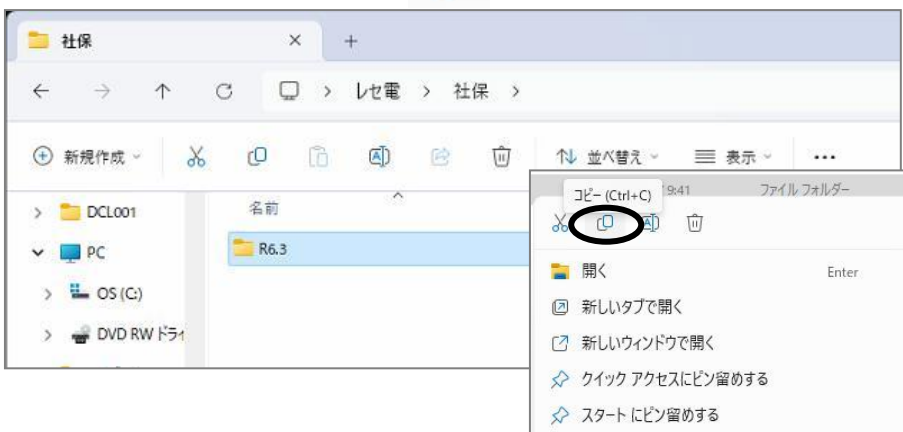
※自動的にレセ電ビューアが開きますので、点数や件数等を確認することができます。



7. 画面左上にあります上矢印をクリックします。

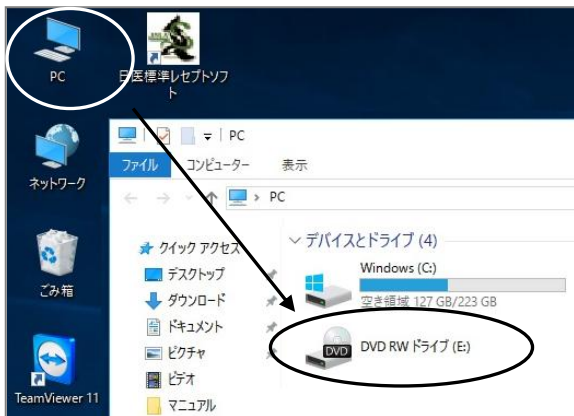


8. 該当フォルダを右クリックし「コピー」をクリックします。

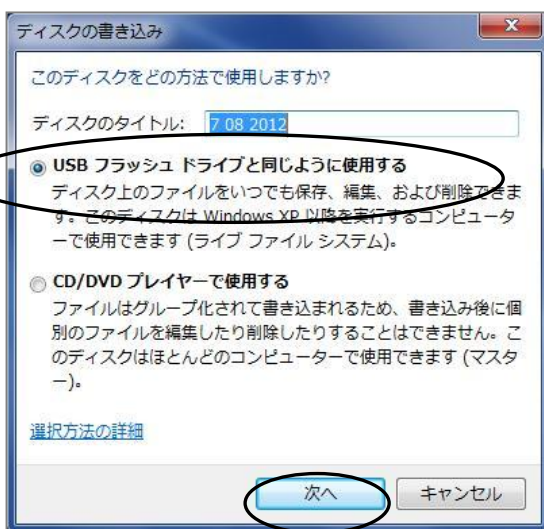


9. CD をセットします。

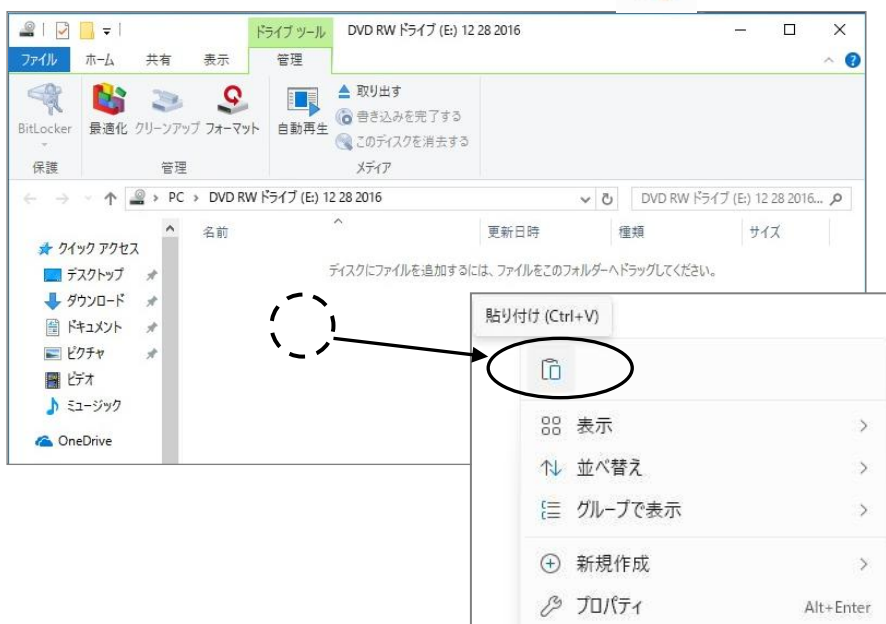
その後デスクトップより PC→DVD RW ドライブの順でWクリックしていきます。



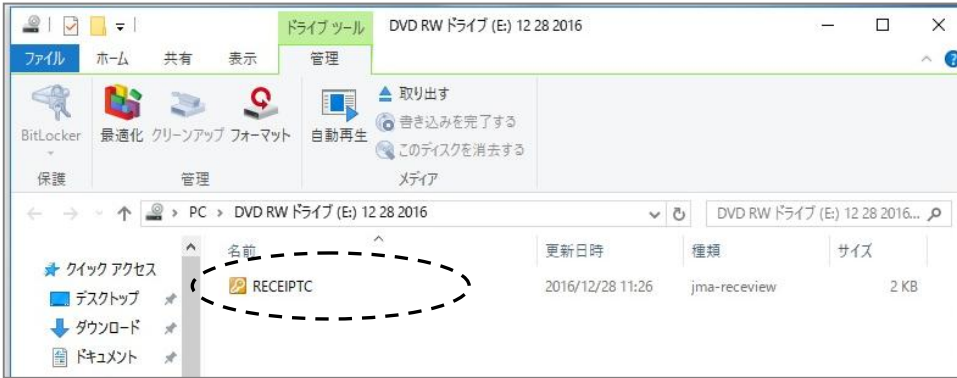
10. USB フラッシュにチェックが付いていることを確認し、「次へ」を押します。



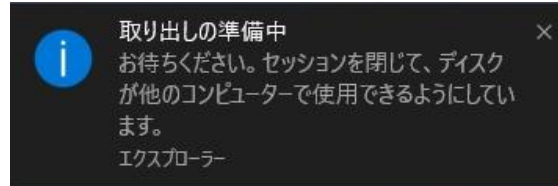
11. 「ディスクにファイルを追加するには、ファイルをこのフォルダへドラッグしてください」の画面が開きます。白い部分で右クリックし「貼り付け」を押します。



12. DVD RWドライブに書き込まれます。



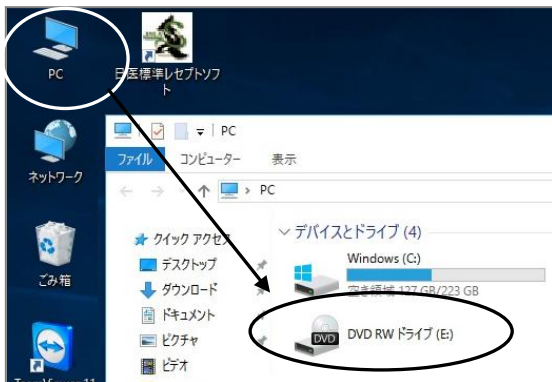
13. CD を取り出します。



(CD へ書き込まれたかの確認方法)

1. CD をセットします。

その後デスクトップより PC→DVD RWドライブの順でWクリックしていきます。



2. CD の中身が表示されます。電算データ(RECEIPTC.UKE)があることを確認します。

